

川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
設立総会及び第 1 回総会
摘録

日時：令和 4 年 9 月 1 日（木）
15：30～16：50
場所：川崎産業振興会館ホール

1 設立総会 開会

- 司会（かわさき市民放送株式会社 大西代表取締役）
 - ・定刻となりましたので、これより「川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会 設立総会」を開催いたします。
 - ・かわさき市民の放送局、かわさき FM としても趣旨に賛同し、実行委員会に参画しています。ぜひ皆様と御一緒に市制 100 周年を盛り上げていきたいと考えています。

2 市長プレゼンテーション

- 福田市長
 - ・みなさん、こんにちは。本日は大変お忙しい中、たくさんの皆さんに設立総会、そして第 1 回総会にお集まりいただきありがとうございます。
 - ・私から 100 周年事業・全国都市緑化かわさきフェアに対する考え方というものを、皆さんと短い時間ではあるが、共有させていただきたいという思いでお話させていただきたいと思う。
 - ・本日は 9 月 1 日ということで、防災の日である。ちょうど 99 年前に関東大震災があり、川崎も被災した。その被災の復興の中で、川崎が始まり 98 年目を迎える。その時は 5 万人の街だったのが、今では 154 万人を超える。30 倍以上の人口となって発展した。多様な人たちが集まり、そして多様な力でもってまちを発展させてきた歴史だと思っている。
 - ・100 周年事業は、私たち川崎市役所、行政の行事でもなく、式典を行って終わりでもなく、100 周年のこれまでの歩みというものを先人たちの努力、歴史に想いを馳せながら、これからの 100 年、新しい川崎を作っていくという、成長の事業にしていかなければならない。
 - ・本事業は、行政の仕事ではなく、市民、企業、団体の皆さま、本日参加いただいている約 270 名の皆さま、川崎のために様々な活動をされている方、あるいは、川崎にゆか

りの深い方などみんながと一緒になって共につくり上げる、そういった 100 周年にしていきたい。

・2016 年に制作した川崎のブランドメッセージのロゴの認知度は、川崎市民で 89%と大変高い認知度がある。しかし、ブランドメッセージは 3 割も浸透していない。

～ブランドメッセージについて読み上げ～

・まさに多様性は可能性で、一色ではない。ブランドロゴが光の三原色のように、それぞれ重なり合うことによって新しい価値を、新しい川崎を生み出していこうという想いをブランドメッセージにしている。

・今回の 100 周年事業、そして全国都市緑化かわさきフェアも多様な人たちが集まって重なりあうことで、新しい川崎をつくりあげていく、そんな事業にしていきたい。

・川崎のブランドメッセージを具現化する行動を、100 周年事業のプラットフォームとする。

～Colors, Future!Actions ステートメント読み上げ～

・川崎市役所がやる 100 周年事業ではない。市民、企業、学校を含めた教育機関など多くの人たちが同じプラットフォームの中で重なり合うことで、様々な事業を行っていくイメージである。「Colors, Future!Actions」には ACTION 01～15 のラベルを作成した。01～15 まであり、いろんなものがある。どれが重要だから 1 番ということではない。

<Colors, Future!Actions 事例>

・「かわさき子ども食堂プラットフォーム」(ACTION 13 × ACTION 05 × ACTION 06)

先日、川崎フロンターレ、川崎市、あるいは関係者の皆さんと作ったネットワーク「かわさき子ども食堂」。なかなか食べ物の調達が大変で、そういったものを川崎フロンターレのスポンサー企業のみなさんが食べ物を提供し、そこに交わる川崎の SDGs プラットフォームに入っている人たちと一緒にあって、それをどうやって子ども達に届けるのか、こういうことをみんなで力を合わせる。自分たち一人ではできないけど、あの人と、この人と、この団体と繋がることによって子ども食堂がちゃんと運営することができる。こんなプラットフォームである。ACTION 13 のスポーツである、川崎フロンターレから始まったが、ACTION 05 の食べ物、そしてみんなで子ども達を応援しようという ACTION 06 チアアップ。このようなやり方もある。

・「Kawasaki 教育シェアリングプロジェクト」学校の特別教室などの施設を地域解放 (ACTION 14 × ACTION 06 × ACTION 10)

すでに実施しており、これからもっと増やしていく事例の一つ。子ども達が学ぶだけでなく、大人たちも学びたい、お互いに学び合いたい、ということで学校の教室を使った。週末に学校の教室、あるいはプールサイドを借りていろいろな学び合いをした。こういった既存の枠組みにとらわれない、学校とも連携し、地域の人たち PTA の人たちも参加してくれた。おやじの会の人たち、あるいは防災活動に展開している女性たち、音楽活動をしている人たちも参加してくれた。こんな学び合うような、こんな川崎の具体的な取組が、川崎の文化になっていく。そういう取組はすでに行われているが、もっと広がりがある、そういった例の一つ。

<全国都市緑化かわさきフェア 事例>

・全国都市緑化かわさきフェア

国土交通大臣から認可を受け、2024 年に全国都市緑化フェアを川崎で実施する。全国都市緑化かわさきフェアは、緑豊かな潤いある都市づくりを目的とする。生田緑地、等々力緑地、富士見公園の3つの総合公園をコア会場とし、駅や商業施設、区役所など様々な場所が会場となり、市民総ぐるみの「全国都市緑化かわさきフェア」にしていきたいと思っている。かわさきフェアがきっかけとなり、日々の生活に緑が溶け込み、みどりを通して、人と人、人とまちのつながりを生み出していきたい。

テーマは「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」。ロゴは7区を象徴した7枚の葉を多彩な花びらに見立て、人や活動が重なり合うように繋がっていくことを象徴している。

・たちばなフェス at 橘公園：公園を地域の個性があふれる空間に

ただボール遊びやかけっこをする場所だけではなく、個性あふれる空間にしていこうと実施。例えば音楽あり、アートあり、スポーツあり、そして緑の中で賑わい空間を、公園がこういう形にもできるということを実行してもらった。こんな ACTION を次々にとっている。

・フォレリウム at 溝の口：花を贈り合う行動が文化に

ACTION 01 グリーン・コミュニティのアイコンと、ACTION 06 チアアップ、花を贈り合うことによって誰かを応援したいという気持ち、そして ACTION 10 Well-being につながっていく。

・そんな ACTION はすでに行われている。これからどんな取組が行われるかは、私達次第である。今日お集まりの皆さん同士で繋がるパターンもある、まだここに参加されていない市民の皆さん、企業の皆さんをどうやってうまく繋げ、新しい価値を生み

出すか、そういうものになると考えている。

・川崎市市制 100 周年事業は、私たち全員の共創事業である。みんなが主役、誰かがお客さんではない。みんなが主役となってみんなが活躍して、単発で終わる事業もあるかもしれないが、100 周年を機に、新たな川崎の文化を作っていきたい。みんなで「がんばろう」という設立総会、第一回総会していければと思う。

3 かわさきスペシャルサポーター発表

○ 司会（大西代表取締役）

・ここで、川崎スペシャルサポーターの発表に移らせていただきますが、準備がごさいますので今しばらくお待ち下さい。

・かわさきスペシャルサポーターとは、市制 100 周年を契機として、市民の川崎への愛着や誇りの醸成や川崎の対外的な認知度やイメージ向上を図ることを目的に、若年層を中心に絶大な支持があり、発信力が高い本市にゆかりがある個人又は団体を選定する新たな制度です。

それでは、かわさきスペシャルサポーターの発表です。

今回、就任するのは、SHI SHAMO と s u m i k a の二組です。

～スペシャルサポータータイトル動画～

（スクリーン：SHI SHAMO）

・SHI SHAMO は、川崎総合科学高校軽音楽部でのバンド活動をきっかけに、2013 年、本格的に活動を開始した、スリーピースロックバンドです。2017 年からは川崎市市民文化大使も務め、大ヒット曲「明日も」のミュージックビデオを等々力陸上競技場で撮影するなど、川崎とのゆかりの深いグループです。今年 11 月からは、CDデビュー 10 周年イヤーとして、日本武道館ライブを控えるなど、精力的な活動に目が離せません。

（スクリーン：s u m i k a）

・s u m i k a は川崎発の 4 人組バンドです。2018 年の川崎市成人の日を祝うつどいへの出演や、市内でのライブ開催、プロバスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」の応援ソングを担当するなど、市内での活動実績は多岐にわたります。今年から来年にかけては、結成 10 周年イヤーとして、4 枚目のアルバムリリースのほか、全国ツアーの開催も予定するなど、これからもさらなる活動が期待されるグループです。

・本日はSHI SHAMOの皆さんにお越しいただいております。

（SHI SHAMO登壇）

○ SHI SHAMO

・かわさきスペシャルサポーターに就任しましたSHI SHAMOです。よろしくお願いいたします。

○ 福田市長

・お越しいただきありがとうございます。ただいま、100周年の取組についてプレゼンさせていただきましたが、いかがですか。

○ SHI SHAMO

・一川崎市民としても楽しみにしており、スペシャルサポーターとしても頑張りたいと思っています。みんなが主役というのが素晴らしいと思った。

○ 福田市長

・15個のACTIONで、皆さんが気になったものはありますか？

○ SHI SHAMO

・私たちが具体的にお手伝いできるのがACTION 12の音楽・表現の活動を大きくしていくところだと思っているが、それ以外でACTION 05名物フードの開発が気になっている。普段の差し入れで、川崎の食べ物を差し入れすることが多く、今年初めて対バンツアーを実施した際に、ニュートンタンメンと大師巻を差し入れし喜んでもらった。今後新しいソウルフードが生まれるのが楽しみである。

○ 福田市長

・自分達が主体となって川崎でやっていきたいことはありますか？

○ SHI SHAMO

・川崎の高校の軽音楽部で生まれたバンドでもあるため、学生で音楽を頑張っている方々を応援できるようなことや、音楽を通して川崎を元気付けるようなことをしていきたい。

○ 福田市長

・もちろん紅白出演バンドでもありますが、NHKの全国合唱コンクールの楽曲も提供しているので、全国の若者達に夢を与えていると思う。ぜひ、地元の学校にも行って欲しい。

い。

○ SHI SHAMO

・今でも母校の学校の部活に行っ、ドラムのチューニングやメンテナンスをしている。

○ 福田市長

・一緒にスペシャルサポーターをする s u m i k a も川崎に戻ってきて様々な人たちと繋がって、取り組んでもらいたいと思っている。川崎でもっと知って欲しいスポットはありますか？

○ SHI SHAMO

・川崎駅には3つも楽器屋さんがある。なかなか他の街には3つもない。高校生の時、学校帰りに見に行ったりした。今でも、欲しいものがあれば川崎駅の楽器屋さんに行く。
・川崎駅周辺に映画館が3つあり、映画館を回ったり、観たい映画が観たい時間に見られる。

○ 福田市長

・SHI SHAMOの皆さんは活動拠点が若干南よりだが、全国都市緑化かわさきフェアは市内全体で開催するため、隅々まで魅力を発信してもらいたいと思っている。これからどうぞよろしくお願ひします。

○ SHI SHAMO

・よろしくお願ひします。

～フォトセッション～

○ 司会（大西代表取締役）

・続いて、スペシャルサポーターの s u m i k a の皆さまからビデオメッセージが届いております。舞台のスクリーンを御覧ください。

～ s u m i k a ビデオメッセージ～

○ 司会（大西代表取締役）

・ s u m i k a の皆さまありがとうございました。

かわさきスペシャルサポーターの皆さんとは、これからSNSを活用した川崎の魅力情

報の発信や、若い世代を対象としたコラボ事業などを展開してまいります。

なお、今回の就任者を第1弾とし、今後も多様なジャンルから、かわさきスペシャルサポーターを選定していく予定です。

続きまして、ここで場面転換を行いますので、少々お待ちください。

4 来賓挨拶

○ 司会（大西代表取締役）

・お待たせいたしました。続きまして、本日出席の御来賓の皆様を紹介させていただきます。

- ・国土交通省大臣官房審議官の 五十嵐 康之 様
- ・関東地方整備局長の 廣瀬 昌由 様
- ・斎藤 文夫 様

またオンラインにて、

- ・藤嶋 昭 様に御出席いただいております。

それでは、御来賓を代表して、国土交通省大臣官房審議官 五十嵐 康之様より御挨拶をいただきたいと存じます。五十嵐様、よろしく願いいたします。

○ 国土交通省大臣官房審議官 五十嵐 康之 様

・川崎市市制 100 周年記念事業、全国都市緑化かわさきフェア実行委員会設立総会ならびに、第一回総会の開催にあたり御挨拶申し上げます。本日御出席の福田市長をはじめ、関係各位におかれまして、都市緑化の推進に御尽力いただき厚く御礼申し上げます。

・都市の緑は自然とのふれあいの場であるとともに、人々の心に潤いと安らぎを与える。また、地球環境の温暖化の防止や、生物多様性の確保など様々な観点の効用もある。防災面においても大きな役割を果たしている。川崎は全国に先駆けて、臨海部の工場をはじめとした事業所の緑化を進行、また市民、企業の様々な主体との共同の連携の中で、緑の保全・育成などを進めている。全国都市緑化フェアは、こうした都市緑化を全国的に推進していくことを目的に実施されており、開催地の各地においてフェアの開催を景気として緑豊かなまちづくりが進められている。令和6年に市制100周年を迎える川崎市市内各地に立地する総合公園を中心に、緑が持つポテンシャルを最大限に発揮して川崎らしい緑を全国に向けて発信していくと伺っている。

・今回のフェアが契機となり、川崎は元より各地に花や緑のまちづくりがさらに広がっていくことを期待している。国土交通省としても、2027年に開催される国際園芸博覧会とこのかわさきフェアがまさに Green For ALL として、機運醸成、都市緑化の推進に

寄与するように全力で取り組む所存である。結びに、全国都市緑化かわさきフェアの成功を心から祈願し私からの挨拶とさせていただく。

5 設立総会 議事

議事進行 伊藤副市長

(1) 議案第1号：実行委員会の設立について

○公益財団法人川崎市国際交流協会 北沢常務理事

～議案第1号 実行委員会の設立～について説明

(2) 議案第2号：実行委員会会則（案）

○川崎市役所 総務企画局シティープロモーション推進室 織裳室長

～議案第2号 実行委員会会則（案）～について説明

○伊藤副市長

・ただいまの説明に関して、何か御意見や御質問があれば頂戴したい。なければ川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会の設立とさせていただく。

～異議なし、承認。

6 実行委員会役員、顧問等の紹介、挨拶

○ 司会（大西代表取締役）

・続いて、ただいま設立した実行委員会の役員の皆様を御紹介させていただきます。

<会長の紹介>

・川崎市長で、本実行委員会の 福田 紀彦 会長

<副会長の紹介>

・川崎市議会議長の 橋本 勝 副会長

・川崎商工会議所会頭の 草壁 悟朗 副会長

・川崎市全町内会連合会会長の 瀧村 治雄 副会長

・社会福祉法人川崎市社会福祉協議会会長の 浮岳 堯仁 副会長

・緑化フェア担当の公益財団法人都市緑化機構理事長の 横張 真 副会長の代理で、専務理事の 椰野 良明 様

・川崎市副市長の 伊藤 弘 副会長

・川崎市副市長の 加藤 順一 副会長

- ・川崎市副市長の 藤倉 茂起 副会長

(・川崎市総合文化団体連合会理事長の 三田村 鳳翔 副会長は本日欠席)

<監事の紹介>

- ・川崎市会計管理者の 山本 奈保美 監事

- ・緑化フェア担当の公益財団法人都市緑化機構事務局長の 辻 淳一 監事

<顧問の紹介>

- ・名誉顧問：国土交通大臣 斉藤 鉄夫 様

- ・顧問：国土交通省都市局長 天河 宏文 様

- ・顧問：関東地方整備局長 廣瀬 昌由 様

- ・顧問：神奈川県知事 黒岩 祐治 様

- ・顧問：公益財団法人都市緑化機構会長 矢野 龍 様

- ・顧問：斎藤 文夫 様

- ・顧問：藤嶋 昭 様

- ・顧問：東京都市大学環境学部特別教授 涌井 史郎 様

役員を代表して、川崎市議会議長の 橋本 勝 副会長より、御挨拶いただきます。

○川崎市議会議長の 橋本 勝 副会長

・先ほど皆様方の御賛同をいただき、本日「川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」の設立をさせていただいたこと、厚く御礼を申し上げます。

・皆様方の御協力を賜り仰ぎながら、しっかりとした準備の元で市制 100 周年の成功に向かって邁進をさせていただく。多世代の方々に、市制 100 周年を祝っていただく、「どなた様も主役」だと実行委員会 会長を務める市長からもお話があった。自身は川崎市民であったが、7月1日の市制記念日の意味・意義を幼い頃は感じてこなかった。今後の若い人たちにも、歴史、あるいは過去の先人の皆様の御尽力に思いを馳せていただき、次の 100 年に向かい未来を見つめ、お互いに力強く前に進んでいきたい。

・合わせて、同時並行で進められる「全国都市緑化かわさきフェア」につきましても、国土交通省の皆様、都市緑化機構の皆様の御指導と御尽力が大事となってくるため、よろしくお願ひしたい。「全国都市緑化かわさきフェア」は議会側の方からも市制 100 周年に向けての誘致をしていったらどうかと福田市長と議論をしてきたため、誘致を承認していただいたことを嬉しく思う。同時に、しっかりとしたものにしていかなければならないという責任も感じている。「全国都市緑化かわさきフェア」を通じて、多様性のある川崎の魅力が大いに発信をしていき、市民、そして市街の方々にも新たな川崎の魅力というものに触れていただき、次の 100 年に向かって、川崎市政が大きく前進する契

機となるように、お互いに皆様方のお力添えを賜りながら頑張っていきたい。

7 設立総会 閉会

8 第1回総会 開会

○ 司会（大西代表取締役）

・続きまして、第1回総会を開会させていただきます。それでは、会則第9条、20条に基づき、議事進行については、会長の福田市長にお願いいたします。

9 第1回総会 議事

議事進行 福田市長

（1）議案1号：100周年記念事業基本計画 Colors, Future! Actions ガイド（案）

○ 川崎市役所 総務企画局シティープロモーション推進室 織裳室長

～議案第1号「川崎市市制 100周年記念事業基本計画 Colors, Future! Actions ガイド（案）～について説明

○ 福田市長

・ただいまの説明に関して、何か御意見や御質問があれば頂戴したい。ないようでしたら、議案第1号について決定する。

（2）議案2号～4号：令和4年度事業計画（案）、令和4年度収支予算（案）、幹事会への付託及び委任事項（案）

○ 川崎市役所 建設緑政局緑化フェア推進室 木村室長

～議案第2号：令和4年度事業計画（案）、議案第3号：令和4年度収支予算（案）、議案第4号：幹事会への付託及び委任事項（案）～について説明

○ 福田市長

・ただいまの説明に関して、何か御意見や御質問があれば頂戴したい。

○ 川崎市スポーツ協会 中山様

・事業提案についての依頼。提案内容が固まる前のアイデアベース段階でも、相談にのっていただき、寄り添った支援をお願いしたい。

○ 福田市長

- ・そういった声は多いと思っている。事務局含め相談していただければと思う。
- ・その他御意見や御質問があれば頂戴したい。

○ 川崎市計量協会 横須賀様

- ・ 市制 100 周年の幹事会について
今の子ども達に意見を募集するなどは今後検討していくか。

○ 福田市長

- ・ Colors, Future! Actions のプラットフォームの中に、学校を含めた教育機関がある。
その中で学校を経由して、あるいは直接伺い、子ども達の意見をプラットフォームの中に、取り入れていくことは今後あると思っている。
子ども達は 100 周年事業の中で、大切な、重要なパートナーである。

○ 川崎市計量協会 横須賀様

- ・ 幹事会が個々の部門に入り込んで、様々な人たちの意見を聞くことがあるか。
こういった場だけでは意見を言うことは難しいと思っている。

○ 福田市長

- ・ 総会で審議する案件と幹事会という形でやっていくものがある。
その中で受け止められる意見を、より広く捉えていきたいと思っている。
決してこの場だけで、全てを決めるわけではないので御理解いただければと思う。
- ・ その他御意見や御質問があれば頂戴したい。なければ、議案第 2 号～第 4 号を決定とする。

10 その他（クラウドファンディングについて）

○ 田島課長

～クラウドファンディング～について説明

○ 福田市長

- ・川崎初のふるさと納税を活用したクラウドファンディングであり、是非皆さまからの御協力をいただければと思う。

- ・議事はこれで終了となります。円滑な議事進行に御協力いただき誠にありがとうございます

いました。今日9月1日をキックオフとして、2024年の100周年に向けて、みんなが主体となって頑張っていきたいと思うので、どうぞこれからもよろしくお願ひします。ありがとうございました。

11 第1回総会 閉会

○ 公益財団法人都市緑化機構専務理事 椰野 良明 様

・全国都市緑化フェアの主催者の一員として、僭越ながら閉会の挨拶をさせていただく。本日は実行委員会の顧問、役員、委員の皆様には、御多用の中設立総会、および第1回総会に御出席いただき御礼申し上げる。また、各議案につきまして御了承を賜りありがとうございました。

・都市緑化機構は緑豊かで潤いのあるまちの形成を目指し、都市緑化の推進に関する検証や助成事業をはじめ、様々な普及・啓発活動に取り組んでいる。その中で、最も重要な事業の一つが全国都市緑化フェアである。我が国唯一の全国的な花と緑のイベントとして、昭和58年の大阪での開催以来地方公共団体の皆様と協力して、40年にわたって実施してきた。中心的な行事として、全国都市緑化祭も開催され皇室の御臨席の元、都市の緑の大切さなども発信してきた。昨年度から今年度にかけて、第38回熊本フェア、第39回北海道フェアが続けて開催されたが、両フェアともに多くの来場者を迎え、盛況のうちに幕を閉じた。来年度は4月26日から第40回仙台フェアを開催予定で、現在準備をしている。

・かわさきフェアは、市制100周年記念事業の象徴的な事業として開催され、大変意義のある事業と認識している。コア会場である富士見公園、等々力緑地、生田緑地のそれぞれの地域資源を活かした個性的な取り組みを展開することとしており、今回のフェアの愛称にもなっている「Green For ALL」による緑のムーブメントが地域全体に広がっていくものと考えている。市制100周年記念事業と一体となって推進していく全国都市緑化フェアを通じ、市民の皆様には様々な形で参加していただき、人々の輪、緑の輪が形成され緑豊かで潤いのあるまちが進展し、輝かしい川崎の未来に繋がることを大いに期待している。

・結びに、御出席いただいている皆様方には今後の御支援、御協力をお願いするとともに、みのりが多いフェアになることを祈念申し上げ、私からの閉会挨拶とする。

以上